

○経済効果推計額

8億5,400万円

<内訳>

1 2020年度SSCの誘致・支援大会におけるスポーツイベント開催に伴う経済効果

・経済効果額 **8億5,400万円**

（開催件数及び算出人数 24 件、参加者総数 27,813 人＝選手関係者 12,525＋観覧者 15,288 人）

・選手関係者・観覧者一人あたりの経済効果額

選手関係者	単価（円）	備考
直接的経済効果額	22,424	過去5年間に開催された79大会（SSC誘致/支援大会）の経済効果推計額の平均額
間接的経済効果額	24,430	
合計	46,854	

観覧者	単価（円）	備考
直接的経済効果額	8,485	過去5年間に開催された29会（SSC誘致/支援大会）の経済効果推計額の平均額
間接的経済効果額	9,006	
合計	17,491	

※ 1の経済効果額は、選手関係者及び観覧者1人あたりの経済効果額に、2020年度にSSCが誘致・支援した大会・イベントの選手関係者数及び観覧者数に乘算して算出しました。（*誘致大会のうち、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった大会は除く。）

※ 選手関係者及び観覧者1人あたりの経済効果額は、SSCが誘致・支援した大会・イベントの参加選手や観覧者への消費額アンケート調査等をもとに、個々の大会・イベント毎に基礎調査として算出した経済効果額の平均額（過去5年間）です。

2016年度から2017年度までの個別大会・イベントの経済効果額は、当時の任意団体：さいたまスポーツコミッション事務局であった公益社団法人さいたま観光国際協会が算出しました。

※ 2018年度から2019年度までの個別大会・イベントの経済効果額は、尚美学園大学 総合政策学部 江頭満正 准教授が算出しました。

※ 2020年度の個別大会・イベントの経済効果額は、「日本コングレスコンベンションビューロー」作成の「経済効果測定ハンドブック」により算出しました。

※ 選手関係者数・観覧者数には、主催又は共催事業は含まれていません。SSCが誘致又は支援した大会の人数です。

2 主催事業「2020 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」における経済効果

・経済効果額 **0円**（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）

3 主催事業「第9回さいたまーチ〜見沼ツデーウオーク〜（2021/3/27・28 予定）」における経済効果

・経済効果額 **0円**（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）



一般社団法人さいたまスポーツコミッション 事業企画課
埼玉県さいたま市浦和区仲町4-2-20 エコ計画浦和ビル2F

TEL 048-762-8334 FAX 048-762-8474 E-mail support@saitamasc.jp